

さわらび短歌会

言葉より先に涙があふれ落つ
逢えてよかった皆に逢えて
遠く住む孫の真也は十六歳
親より友が大事と言えり
人生は思ひ通りにはゆかぬこと
悟りし夫の側に友あり
会ふ人に笑顔をもらふ朝には
つい脚弾み歩幅広がる
病室の窓より望む城山の
緑まぶしも眼帯取れて
夕焼けを溶かして海は朱に染まり
港の夕べなおも明るし

岩村千代子
河上 明美
前田 知子
藤井 擴
前田 充
門屋あけみ

原爆の被爆の人影ふと思う
舗装道路に立つ我が陰に
AIの力を身近に感じたり
今年始めし身体測定
伐られゆく枯れし古木の百日紅
たましい宿ると黙礼をする
ブルーベリーの枝たぐり寄せ熟れし実を選びて
摘みゆく雨止みし朝

水野美代子
澤近 正弘
生田八寿子
松本マス子

菊川俳句会

ヒロシマに来て無言なり原爆忌
シワシワの老いも楽しや彼岸花
いつからか家路へ一人見る夕焼
とめどなくヒロシマの月太田川
ヒロシマの叔母に手紙を書く月夜
陽に焼けたおやじの笑顔大漁旗
母の笑み面会予約桃をむく
HIROSHIMAの誓い八日の風きれい
ヒロシマのうづくまる影十五の夏

中川 一喜
安岡留美子
和田 靖樹
浅野勇一郎
河野 孝
河野 清美
福田 りさ
宇野 天弓

訂正

8月号P3「令和7年春の叙勲」の記事において、清水雅文さんの受章記事に誤りがありました。正しくは、「旭日双光章」です。同じくP32「10年前の同月の人口」に誤りがありました。正しくは、23,262人です。訂正してお詫び申し上げます。